

Y I A 会員だより 2022 年 3 月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第 207 号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【3 月以降の活動予定他】

※吉野川市長が鴨島日本語教室を視察

日時：3 月 13 日（日）13 時 30 分～

※機関紙 18 号「国際交流よしのがわ」

3 月下旬に会員の皆様に送付予定です

◆鴨島一中での総合学習講座 新居 博

鴨島第一中学校の総合的な学習のプログラムの一つとして、2 月 1 日午後、一年生 15 人を対象にして“グローバル化とコミュニケーション”と題して講演を行いました。

外資系企業での勤務やアメリカでの生活などの経験をもとに、アメリカ中規模都市での日常生活、グローバル化とは何か、グローバル化社会での異文化コミュニケーションの意義と重要性などについて話をしました。



グローバル化とは、物、人、金、情報等が地球規模で動くことであり、私たちの日常生活は食料、原料や製品の貿易を通して世界中の人々とつながっており、グローバル化のもとで共に生きる共生社会であることを具体的な例を使い話をしました。

いろいろな国の紙幣やコイン、たくさんのスタンプが押されたパスポートなどを見ながらグローバル化の意味を実感してもらいました。

グローバル化共生社会では、異なる価値観や考え方を持つ人々とのコミュニケーション力がますます重要となります。そのためには、まず、日本語で身近の人々と上手にコミュニケーションができることが第一ステップであり、具体的には、相手の立場を考えて、相手の目を見ながら話し、質問や確認などを含む積極的傾聴ができるようになることから始めることが重要

であることを話しました。次いで、外国の人々との異文化コミュニケーション能力を持つために、今から英語などの言語をしっかりと勉強し、国や地域の価値観や文化のもとになっている歴史や地理の学習にも興味をもってほしいと話しました。

後日、参加者全員からお礼状をいただきました。グローバル化とコミュニケーションの重要性について感じたことと今後どうしたいという内容が書かれたたくさんさんの素晴らしいメッセージでした。

◆TOPIA（徳島県国際交流協会）主催☆日本語講座を受講しました☆ 羽山 知恵子

「あなたのまわりの外国人住民の皆さんに日本語支援をしてみませんか！」というご案内をいただき、東京に住んでいた時の CWAJ（国際交流会）の行事である「Japanese conversation group」に関わっていたことから、なぜかワクワクうれしくなりました。

言語は人と人、国と国をつなぎ、その教授法も日々進化しています。だからこそ、今！最前線で指導されている内容を先生方より学びたいと願っての参加でした。しかも現在オミクロン感染拡大の日常ですので、Stay home, stay calm しながら大変有意義なオンライン講座を受けました。

受講期間：2021/11/13, 20, 27, 12/4, 11, 2022/1/15, 1/23, 29, 2/5 各土曜日 13：30～16：30

講師：青木洋子先生、野水祥子先生、山田多佳子先生（TOPIA）、元木佳江先生（四国大学准教授）、萩森健治氏（吉野川市国際交流協会会長）

テキスト：「日本語教師ハンドブック改訂版 日本語教育 文法講義ノート」

参加者：35 名（小さなお子さんのいる若い方々、40 代、50 代の男性をはじめとしてシニアの男性女性等幅広い世代の参加はオンラインならではの特徴とのことでした）

日本語支援ボランティア養成講座
in とくしま
(オンライン【ZOOM】開催)

あなたのまわりの外国人住民の皆さんに日本語支援をしてみませんか

現在、約6600人、約80の国や地域から外国人住民の皆さんが、この徳島で暮らしています。彼らが、この徳島で、安心して過ごすための第一歩は、なんといっても言葉です。日本語の支援や教え方のポイントを一緒に勉強して、講座受講後は、日本語支援ボランティアとして地域日本語教室で活動しませんか？

●日時:土曜日 1:30pm～4:30pm
※1月23日のみ**日曜日**(一部実習)1:30pm～4:30pm
(実際に日本語学習者の皆さんに日本語支援をして頂く予定です。)
前期:11月13日・20日・27日、12月4日・11日
後期:1月15日・23日・29日、2月5日
(受講できなかった日は、録画視聴可)

●講師:青木洋子先生・山田多佳子先生(TOPIA・県内大学日本語講師)
元木佳江先生(四国大学准教授)
萩森健治氏(吉野川市国際交流協会会長)・野水祥子(TOPIAスタッフ)

●講座形態:オンライン講座【ZOOM開催】(パソコンでの参加を推奨いたしますが、スマートフォン・タブレットでの受講も可能です。ただしパソコンでしか反映されない機能がございましてご承知おき下さい。)

●テキスト:「日本語教育 文法講義ノート」を事前にご購入下さい。
(アルク出版・第2版・¥2,200)

●申込み:①名前 ②郵便番号 ③住所 ④電話(携帯可)⑤メールアドレス
を記入の上、メールにて下記までお申し込み下さい。
★講座開催前にZOOM情報を受講者のみなさんのメールにお送りします。
★事前に、講座で使う資料などを郵送します。

●定員:最大50名程度 ●受講料:無料 ●締切:10月31日

※70%を受講した方には、修了証をお渡しします。
※この講座は、文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、徳島県からの委託を受けて実施するものです。
※この講座では、徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」生活環境学部の27単位が取得可能です。

主催/申込み先: (公財) 徳島県国際交流協会 TOPIA
Tel: 088-656-3303 Mail: coordinator2@topia.ne.jp

全8回の講座の第一回目は、先生方による「多文化共生の推進と日本語支援～そしてダイバーシティ～を考えよう」と題する講座でした。「徳島で暮らす外国人への日本語支援はコミュニケーションそのものであり、お互いの文化、習慣等を尊重し、心のよりどころとして寄り添うことが大切だ」と強調されました。

萩森氏からは、吉野川市の日本語教室は30年の歴史があり、充実した現状の活動が丁寧に報告され、受講生にとって大きな道しるべとなっていることが報告されました。

今回、YIA 鴨島・日本語教室が受講生の実地研修教室に指定されましたがコロナ感染拡大で中止になりとても残念でした！

講座の第二回目以降は用意くださったカリキュラムに従い、数、名詞、助詞、形容詞、動詞、敬語、等々

をはじめ多岐にわたる文型の応用編、実践編を経験しました。また学びの内容の録画をその都度お送りいただき大変役立っています。

コロナ禍ゆえ受講生同士の交流を持てず残念でしたが、日本語支援の奥深さと楽しさを新たにし、貴重な学びに感謝しています。

◆国際理解講座(第2回目)を開催 三宅 ふさ代

2月26日午後、今年度第2回目の国際理解講座を開催し、11名が参加しました。テーマは「アメリカ地方都市の日常生活とグローバル企業のマネジメント」、講師はYIA副会長の新居博氏でした。

講座の内容をご紹介します。

～～～～～～



新居氏は34歳の時、日本企業の研究職から、世界的に有名な化学メーカーであるデュポン(株)に転職しました。同社はアメリカ合衆国のデラウェア州ウィルミントンに本社があり、1802年創業、従業員64,000人のグローバル企業です。

在職中、家族を伴い3年間ウィルミントンの本社勤務をしました。東部の州デラウェアとその周辺、住宅街、市街地、道路網を俯瞰する美しい写真やイラストによる説明がありました。通学用のスクールバス、地域でのサッカー、ハロウィーン。同僚家族を招いてのバーベキューや夕食の様子も紹介されました。

後半は、多国籍人材が働く企業の雇用、働き方、人事評価、マネジメント等が説明されました。密度の濃い内容でした。

YIA 定例活動 他 ◆日本語教室：日本語で教えています。講師募集中！

【鴨島教室】 毎週日曜日 13:30～15:30 【山川教室】 毎週日曜日 10:00～11:30

お問い合わせ先：萩森健治 ☎0883-24-8653